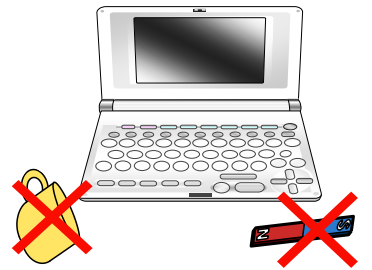


ぎがたんを いえに もちかえろう

(おうちのひとと いっしょに よみましょう。)



【 ほうほうや ちゅういすること 】

- ① ぎがたんを らんどせるに 入れる。あおの かーど・ふでばこ・れんらく ちょう・れんらくぶくろだけをいれる。(すいとうは ぜったい いれない!)
らんどせるの とめぐを きちんと しめる。
- ② おもくなって ばらんすが わるくなるので、きをつけて あるく。
- ③ ぎがたんが きずつかないよう、らんどせるを なげたり、うえにおもいものを のせたりしない。
- ④ いえに ついたら すぐに らんどせるから とりだし、おとしにくいばしょに おく。まわりに じしゃくや みずけのあるものをおかない。
- ⑤ おうちのひとと いっしょに、いえの るーたーに つなぐ。つながったら、 ぎがたんの でんげんを 入れて ろぐいんする。
(あおのかーどはアイ・ディーです)
- ⑥ つながったら、せんせいから だされたしゅくだいを ぎがたんで おこなう。

(どうがを みる しゅくだいです)

「ぐーぐるくらするーむ」にはいる。

(したのところに くらするーむのしるしがあります)

↓
じぶんのくらすの へやにはいる

↓
せんせいから おしらせがきています

↓
くりつくする

↓
「ぎがたんをつかうときのやくそく」のどうがをみる

↓
見終わったらでんげんをきり、ふたをしめておしまい

やじるしの じゅんに
えらんで いきましょう!

※ いえの そとに もちだしたり、がくしゅうに かんけいのないしゃしんを とったりしない。

⑦ おわったら でんげんをきる。ぎがたんの ふたをとじて、らんどせるに しまう。

⑧ おうちのひとに「たんまつとうかしだしよ端末等貸出書」のかみを かいてもらい、れんらくぶくろに しまう。

これで おわりです。①②③に きをつけて、げつようび とうこうするとき
ぎがたんと あおの かーどを わすれずに もってくる。